

震災から6年 復旧・復興はどこまで進んだのか

1. 東日本大震災から6年間の取組

北上川下流河川事務所における災害復旧事業の進捗状況および復興に向けた取組を「東日本大震災から6年間の取組」として取りまとめました。

平成23年3月11日から6年を向かえようとしています。

東日本大震災により、管内の堤防など河川管理施設で多くの被害が生じました。

北上川下流河川事務所では、地震発生直後から河川管理施設の緊急復旧や、津波による浸水地区の排水作業などを実施してきました。

現在も、甚大な被害を受けた旧北上川の河口部で河川管理施設の本復旧、復興まちづくりと併せた堤防整備など、復興に向けた様々な取組を進めています。

また、鳴瀬川、北上川の河口部におきましても、海岸堤防と一連となって効果を発揮するように河川堤防等の整備を進めて参りましたが、この度、堤防等が完成し2月25日に完成式を挙行いたしました。

資料名： 東日本大震災から6年間の取組

北上川下流河川事務所記者発表についてはホームページでご覧になれます。

ホームページアドレス【 <http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/> 】

【記者発表会】石巻記者クラブ、古川記者クラブ

【問い合わせ先】



国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所

宮城県石巻市蛇田字新下沼80 TEL 0225-95-0194 (代表)

技術担当副所長 こんの ひろみ 今野 裕美 (内線205)

調査第二課長 ささき ひろゆき 佐々木 浩幸 (内線361)

※ 内容が多岐にわたるため、個別の内容については確認をして折り返す場合があります。